

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより 第41号

第1回「ヨシイクゾウ」賞を辞退するに至った経緯についての簡単なお報告

村田 邦夫

(一)

最初に断っておきますよ。そんな賞はありません。私が勝手に創った賞です。もともとは吉野作造賞ですが、そこから野を取り、作をイクにしたのです。吉幾三という演歌歌手がいますので、少し紛らわしいのですが、自然と浮かんできたのですよ、ヨシ、イクゾウ、そしてヨシイクゾウってね。

昨年度私は在外研修で、中国河北省保定市というところにあります河北大学外国語学院日本語系(学科)で、自由に教育・研究のできる有意義な時間に恵まれていたのです。思えば、まだ1、2年前のことなのですが、なにかもう大分時間がたったような感じですね。最初の2ヶ月間はほんまに辛くて、毎日、帰りたい、のそればかりでした。年のせいにはしたくないのですが、やはり年齢と目の悪さがありました。そんな時に、日本から届いた吉野作造賞を受賞したとの知らせがあったのです。すいません、私じゃありませんよ。

私の昔からの研究仲間で、インド経済史の専門家で、大英帝国史から、今日ではグローバル・ヒストリーの研究会で活躍している人です。彼の受賞を聞いたとたん、世俗的なことには関心がないとええ格好の素振りしつつ、また権威に迎合しないとこれまたエラソウなことをほざきながら、チョウ世俗的で、チョウ権威に弱い私は、少しの間落ち込んでいたんですよ。私はどんな賞ももらえないだろう、と〈ショウもない〉ことを数日間、考え続けていたのですよ。

(二)

そうこうするうちに、少し元気になったのです。よし、私も彼を見習って、〈がんばろう〉と。4月、5月と苦しみながら書き改めていた原稿に、さらに真摯に必死に向き合うことができたのです。そのときに、思いついたのですよ。そうだ、今度この原稿が本になって刊行されたら、私一人で授賞式をしよう。そのときの賞は、これだ、と。よおっし、そこまでいくぞー、っと。

本のタイトルは、『21世紀の「日本」と「日本人」と「普遍主義」』で、副題は、「平和な民主主義」社会の実現のために「勝ち続けなきゃならない」世界・セカイとそこでの戦争・センソウ、です。自分で言うのもおかしいのですが、やっとなのですよ、少しだけですが、自分の思うように言葉で表現できたような、それが確信できたのですよ。

内容は、私たちがこれまで後生大事に護り続けてきた自由、人権、民主主義、平和といった普遍主義というのは、実は、それを実現するためには、「勝ち続けなきゃならない」世界・セカイとそこでの戦争・センソウを前提としなければならず、そのために必ず負け続ける相手(国や地域とそこに暮らす人々)を作り出し、それを差別、排除しなければならぬ。

そして21世紀の現在、その差別と排除の関係(仕組み)は転換、変容し、これまで差別、排除する



側にあった先進国が、今度は逆に差別、排除される側に回っているという悲しい、暗い話です。

(三)

拙著は、私たちの社会は、豊かになるにつれて、自由、人権、民主主義、平和が実現される機会も多くなるとの命題（いわゆるS・M・リブセット仮説）に依拠すると同時に、それをさらに掘り下げながら論及したものです。換言すれば、「衣食足りて（足りず）礼節を知る（知らず）」の営為の関係史という観点から、論述されたものです。私たちの学問は、多かれ少なかれ、こうした流れを前提としたものではなかったでしょうか。こうした流れを担う人間が求められ、そうした人材を育成してきたのではありませんか。

主体的、合理主義的、責任感のある個（人）を前提とした社会の実現とその普遍化を目標としてきたにもかかわらず、いや、そうだったからこそ、世界の現状は目を覆いたくなるような惨状です。簡単に言えば、勉強して、賢くなって、学歴が



高くなり、そして社会的地位も上昇したように思われても、そうした人たちが、それでは彼らの

周りにいる自分たち以外の他人を思いいたわるようにはならないというか、それどころか、他人を押しつけて、自分だけの幸せの実現に走ってしまう、ということですね。

(四)

今回の授与式を辞退しようと思ったのは、そこまでわかっているのであれば、それじゃ、たとえ現状を変えられないとしても、私自身を、その生き方を、もう少しだけでも変えられるかもしれない、そのような本を世の中に提示するべきではないかという、声が聞こえたのです。これまでの流れとは異なる、「礼節を知りて、衣食足る」そうした流れにつながるようなメッセージを発信なさいと、まさにそういう天の声が聞こえてきたのですね。

それで正式に辞退した次第です。受賞の前に、自分の書いたものの欠点というか、もっと良いものが書けるし、それに気がついたのだから、それはやはり、次においておくべきだろう、と。残された時間の許す限り、よっしゃ、いくぞー、その意気あるのみですか。

(むらた くに お 国際関係学科教授)

夏の蔵書点検

書庫2階ロシア語書架展開完了報告

夏の蔵書点検期間を利用し、書庫2階ロシア語書架の展開作業を実施しました。

これは蔵書が増え資料が溢れ出てしまうようになっていた書架について、資料を少しずつずらすという作業をすることにより整えていくものです。場所によってはまだ完全とは言えない状況ですが、少しでもお手に取りやすくなっていれば幸いです。

(須浦)



著書紹介

El español y el japonés

福嶋 教隆



筆者はイスパニア語と日本語の対照研究をテーマの1つとして勉強してきましたが、現時点での成果をまとめたのが本書です。日本語という光源から照射することによって浮かび上がるイスパニア語の特質を捉えようとするものです。

第1部「叙法とモダリティ」は、次の5つの章に分かれています。「イスパニア語と日本語のモダリティの対照研究史」、「イスパニア王立学士院による叙法の取り扱い」、「日本語に接続法は存在するか?」、「creerを主動詞とする複文疑問文中の叙法の地域変異」、「接続法をいかに教えるか?」。日本語のモダリティ研究で得られた知見をイスパニア語の直説法・接続法の使い分けの原理の解明に役立てられないか、という視点から眺めた叙法論と、その教育への応用の提案です。

第2部「さまざまな対照」は、次の3つの章から成っています。「イスパニア語の主題」、「イスパニア語の役割語」、「日本文学のイスパニア語への翻訳について」。日本語学の成果を手がかりに、イスパニア語の母語話者が見



イスパニア王立学士院

落としがちな問題を指摘しようと試みました。また、日本文学は近年、盛んにイスパニア語に翻訳されていますが、多くの誤訳が見過ごされていることに警鐘を鳴らしました。

本書は敢えてイスパニア語で著したため、出来不出来はともかく、外国の研究者にも読んでもらえるのが利点で、すでにいくつか感想が寄せられています。各章は、さまざまな機会に公にした論文や口頭発表に手を加えたものです。本書の前書きにも記しましたが、重ねた齢に比して、生み出した成果の乏しいことを恥じています。本書執筆にあたりお世話になった皆様、また、研究叢書第53号として刊行して下さった本学に厚く御礼申し上げます。

(ふくしま のりたか イスパニア学科教授)



ラーニングアドバイザーに相談してみませんか？

大学院生による学習支援活動がはじまりました

飯島 祐子

後期に入り、ラーニングコモンズ窓側のデスクに名札を下げたスタッフが座っているのにお気づきでしょうか。今年4月にオープンしたラーニングコモンズはさらに機能を強化し、10月よりラーニングアドバイザー（略称：LA）の大学院生による学習支援活動がはじまりました。2014年度後期は、3名のラーニングアドバイザーが週4日アドバイザーデスクに待機し、学習相談に応じています。

レポート・論文作成や資料収集で困ったことがあれば、アドバイザーデスクにお越しください。ラーニングアドバイザーが自身の学習・研究の経験に基づき助言をします。文章が途中で気軽に持ち込んでください。書く前の構想段階でも相談に応じます。

みなさんの学習上の困りごとに応えるラーニングアドバイザーですが、なかにはお手伝いできないこともあります。文章の添削や翻訳、授業の予習・宿題のお手伝いはできません。ラーニングア

ドバイザーは答えを与えるのではなく、相談者との対話を通して一緒に考え、解決策を探っていきます。

また、アドバイザーデスクでの活動と並行して、「LAのおすすめ」と題した資料展示も行っています。各アドバイザーの専門や関心に基づいて選ばれた資料は、多くの利用者を引きつけています。今後は、資料の探し方ガイド（パスファインダー）の発行など幅広い学習支援活動に取り組んでいく予定です。

アドバイザーデスクは、外大で初めてとなる相談窓口です。みなさんに近い存在の大学院生と話してみることで、解決の糸口が見つかるかもしれません。お気軽に声をかけてください。

（いいじま ゆうこ 図書館職員）



ラーニングアドバイザーによる企画展示

…ラーニングアドバイザーのみなさんより…



外国語学研究所博士課程文化交流専攻 2年

「アイデアはあるけど、上手くまとまらない…」 「レポートの書き方に自信がない…」 「資料はどうやって探せばいいの…」 「PCの紙が詰まった!」。そんなときは、どうぞ気軽にLAに声をかけてください。「こんなこと知りたいんだけど」と思うことは何でも、一緒に考えてみませんか? また、大学の図書館蔵書以外にもみなさんが情報にアクセスしやすいよう、多角的に提案できればと思います。その他、電子黒板やPC環境等、進化したラーニング commons の環境を最大限に活用してもらえよう、お手伝いします。まずは、LA デスクに足を運んでみてください。



外国語学研究所修士課程イスパニア語学専攻 2年

ラーニングアドバイザー (LA) の学習サポート企画が始まって一ヶ月が経った今、マルチファンクショナルな図書館に恵まれていると改めて実感しています。国内・海外の様々な資料の検索方法やおすすめの図書を考える企画など、自分にとって有益な体験をさせてもらっています。卒業論文やレポートなどを作成されている皆さん、質問を重ねる中で新たな視点を見つけるチャンスです。いつでも気軽に立ち寄って下さい。



外国語学研究所修士課程英語学専攻 1年

10月1日よりLAのお仕事が始まって1ヶ月経ちました。LAの席に座っていると、普段の利用者としての目線とは違った目線で図書館を見ることができて新鮮に感じています。前期には誰もいなかったスペースに誰か座っている、ということで気になった方もおられるかと思います。ロビーのラーニング commons も LA の制度も、まだまだ出来たばかりです。気軽に利用しやすいスペース・システムにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。


学外から一部のデータベースにアクセスできるようになりました

河野 幸徳

学術認証フェデレーションへの参加により、学外から一部のデータベースにアクセスできるようになりました。対象となるデータベースは、

- Cambridge Books Online、Cambridge Journals Online (CUP)
- CiNii Articles (NII)
- Gale Virtual Reference Library (Cengage Learning)
- EBSCO host

です。是非ご利用ください。



公立大学法人
神戸市外国語大学

神戸市外国語大学
学術認証フェデレーション Login Page

User ID

Password

> Forgot your password?
共同研究棟2階
情報メディア班窓口までお越しください。

> Need Help?

Login

【接続方法】

Cambridge Books Online、Cambridge Journals Online (CUP)

1. <http://journals.cambridge.org/> にアクセス。
2. 右上の「Log in」から、「Institutional Log-in」を選択。
3. Federation で「Japan/Japanese Federation」を選択、Institution で「神戸市外国語大学」を選択し、「Select」をクリック。
4. 神戸市外国語大学学術認証フェデレーション Login Page で、学内 LAN を利用する ID/

Password を入力し、「Login」をクリック。

CiNii Articles (NII)

1. <http://ci.nii.ac.jp> にアクセス。
2. 右上の「ログイン」をクリック。
3. 所属機関の学内認証システムでログインする方で、「神戸市外国語大学」を選択し、「ログイン(Login)」をクリック。
4. 神戸市外国語大学学術認証フェデレーション Login Page で、学内 LAN を利用する ID/Password を入力し、「Login」をクリック。

Gale Virtual Reference Library (Cengage Learning)

1. <http://go.galegroup.com> にアクセス。
2. 神戸市外国語大学学術認証フェデレーション Login Page で、学内 LAN を利用する ID/Password を入力し、「Login」をクリック。

EBSCO host

1. <http://search.ebscohost.com/> にアクセス。
2. 画面左側の「Shibboleth login」をクリック。
3. Shibboleth Login 画面で「Japanese research and Education - GakuNin」を選択。
4. 学認参加機関が一覧されるので、「神戸市外国語大学」を選択。
5. 神戸市外国語大学学術認証フェデレーション Login Page で、学内 LAN を利用する ID/Password を入力し、「Login」をクリック。

(この ゆきのり 図書館職員)



図書館の学習支援

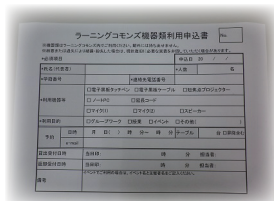
ノートパソコンの貸出を開始しました

2014年10月6日(月)より、ノートパソコンの貸出をはじめました。図書館ではノートパソコン本体、マウス、トートバッグをセットにして貸出しています。

利用場所は図書館内となり、ご利用の際には申込用紙に必要事項を記入のうえ、学生証と共に

カウンターへ提出ください。返却期限は貸出日の閉館15分前までです。10台を用意していますが、すべて貸出中の場合は、学生会館でも貸出していますので、是非そちらもご利用ください。

(河野)



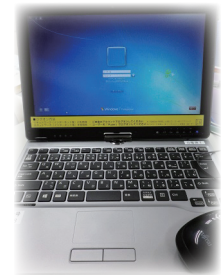
申込用紙



キャビネットに10台待機



貸出セット



どうぞご利用ください

秋の図書館イベント

第4回選書ツアーを開催しました



11月5日(水曜)の午後、ジュンク堂書店三宮店にて第4回選書ツアーを行いました。今年の参加者は5人と

見受けられ、なかなか興味深い選書具合となっています。

今後12月半ばには閲覧室入口にて展示をする予定です。ツアー参加者による手書きPOPも添えられますので、どうぞご期待ください。

(須浦)

やや少なめでしたが、全員で76冊の本を選びました。

選ばれた分野は例年通り、美術書や文学ものが多かったのですが、一風変わった趣向の小説やインテリア関係の書物も



本年の選書ツアーで選ばれた本

“図書館 Facebook” はじめました

2014年9月1日（月）から、よりきめ細やかな情報を、よりスピーディーに提供するため、学術情報センター（図書館）Facebookページの試行運用を開始いたしました。

図書館からのお知らせのほか、イベント情報、オススメ資料、サービス紹介や図書館お仕事図鑑などの記事を配信しています。

今のところ一番多くの「いいね！」をいただいている記事は…、

10月27日（月）に投稿した「◎図書館の周辺から…◎」で、ユニバープラザの外壁工事にシマウマ模様のクレーン車が現れた、という内容です。まったく図書館に関係の無い記事のようですが、なぜシマウマは縞模様か？という少しマニアックな情報も盛り込んでおりますので、興味がございましたらご確認ください。さらに図書館関連の記



事を魅力的にできるよう、精進していきたいです。

ホームページには掲載していない写真や情報も多くありますので、是非アクセスのうえ、フォローをお願いいたします。

（河野）



↑最多数「いいね！」獲得写真はこちら

図書館日誌 2014年7月～11月

2014年		10.1-11.22	展示「司書のおすすめD」第26回
-7.26	展示「司書のおすすめD」第25回	10.1	ラーニングアドバイザーによる 学習支援開始
7.7-8.5	第7回 Re コース		
7.15	Newsletter No.10 発行	10.6	ノートパソコン貸出開始
	7月のゼミガイダンス 3回実施		10月のゼミガイダンス 1回実施
8.13	子ども参観日	11.4	Newsletter No.11 発行
8.18-25	蔵書点検・書庫雑誌移動	11.5	第4回選書ツアー
8.24	オープンキャンパス（専攻言語の図書 展示、司書による書庫見学ツアー）	11.11-12	トライやるウィーク（2校4名受入） 11月のゼミガイダンス 1回実施
9.1	Facebook 試行運用開始		

AD ALTIORA SEMPER 神戸市外国語大学学術情報センターだより

第41号 ISSN 0919-2336

「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL：078-794-8151 / FAX：078-797-2257

URL：http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/

2014年12月15日発行 発行責任者：センター長 太田斎



神戸市外国語大学は
2016年に創立70周年
を迎えます。